

東北管内における「みどりの食料システム戦略※」の着実な進展に向け、関係の皆様タイムリーな情報をお知らせできるよう、「東北みどり戦略だより」を発行しています。

※「みどりの食料システム戦略」は、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現するため、農林水産省で策定したものです。

「みどりの食料システム戦略」
の詳細はこちら→



<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/>



第1回みどり戦略学生チャレンジ受賞チーム決定

農林水産省では、「みどりの食料システム戦略の実現」に向けて将来を担う若い世代の環境に配慮した取組を促すため、大学生や高校生等の個人・グループが「みどりの食料システム戦略」に基づいた活動を実践する機会として、「第1回みどり戦略学生チャレンジ（全国版）」を実施しました。

全国で402件の参加登録があり、各地方ブロックでの審査を経て34チームが出場した全国大会では、「宮城県農業高等学校」（高校の部）による緩効性肥料を開発して実証実験を行った取組が、農林水産大臣賞を受賞しました。

東北ブロックでは50件の参加登録があり、高校の部のグランプリは、「秋田県立大曲農業高等学校」によるシイタケの廃菌床とヘラクレスオオカブトの幼虫の糞から製造した堆肥（「ヘラクレス堆肥」）の効果の検証と循環型農業の普及活動の取組が受賞しました。

大学・専門学校の部のグランプリは、「宮城大学」による大学の食堂で発生する食品残渣を活用した堆肥の製造と、公益財団法人と連携した小学生に対する堆肥の説明と施肥体験の取組が受賞しました。



宮城県農業高等学校
（高校の部/農林水産大臣賞）



秋田県立大曲農業高等学校
（高校の部/グランプリ）



宮城大学
（大学・専門学校の部/グランプリ）



全国大会の結果は
こちらから



https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/challenge_kikka.html

東北ブロックの取
組成果はこちらか
ら



https://www.maff.go.jp/tohoku/kihon/midori_gakuc hare.html

第2回 みどりの戦略学生チャレンジ

サステナブルな食料の取組を全国へ

挑戦！ みどりの挑戦者たち！

全国大会（表彰式・交流会）：2026年2月14日

参加登録期間：2025年4月1日～2025年6月30日

ポスター提出期間：2025年8月1日～2025年11月30日

取組実施期間：2025年1月1日～2025年11月30日

地方ブロック審査12月中、全国審査1月中

全国大会（表彰式・交流会）：2026年2月14日

学生の皆様のご参加をお待ちしております！

🌲「第2回みどり戦略学生チャレンジ」の参加登録を受け付け中です（参加登録期限は6月末まで！）。

📅スケジュールは以下のとおりです。

参加登録期間：2025年4月1日～2025年6月30日

ポスター提出期間：2025年8月1日～2025年11月30日

取組実施期間：2025年1月1日～2025年11月30日

地方ブロック審査12月中、全国審査1月中

全国大会（表彰式・交流会）：2026年2月14日

学生の皆様のご参加をお待ちしております！



第2回みどり戦
略学生チャレン
ジの詳細はこち
らから



<https://www.maff.go.jp/tohoku/press/kikaku/250402.html>



生産者と食品事業者との商談会を開催

有機農産物等の販路拡大に向けて、有機農産物等生産者と食品事業者とのマッチング実現を目的とした商談会を開催しました。

令和7年2月26日に山形県で行った商談会では、有機農産物等生産者、食品小売業者及び食品製造業者等18名に参加いただき、3月13日に青森県で行った商談会では、有機農産物等生産者と食品小売業者等12名に参加いただきました。

東北農政局からみどり戦略に関する情報提供後、商談を行い、「参考になった」「商談相手との繋がりができた」などの声が寄せられました。



商談会

環境負荷低減の見える化



みえるらべる

温室効果ガス削減や生物多様性の保全の取組を分かりやすく等級ラベルで表示します。



J-クレジット制度

CO2等の排出削減などをクレジットとして国が認証する制度。クレジットの売買が可能です。

みどりチェック
(クロスコンプライアンス)

農林水産省の補助金等の交付を受ける場合に、最低限の環境負荷低減の取組を実施いただきます。



グループ申請によるみどり認定が広がっています

みどり認定は、農協の生産部会など、同じ品目や取組を行う生産者がまとまって1つの計画を作成・申請し、グループ（団体）として認定を受けることが可能です。

令和7年3月24日、岩手県の岩手ふるさと農業協同組合では、3,756名のグループ認定を受けました。同日には、認定証の交付式が行われ、実施計画で、特別栽培米の生産拡大、秋耕の実施、中干し期間の延長について目標が掲げられ、取組を進めていく決意表明が行われました。



認定証交付式

みっちゃん
のミドリミソド♪

#3 みえるらべる♪



作・ゆみ☆マルキン

※『みえるらべる』とは、農産物生産における環境負荷低減効果を星の数で「見える化」して、商品に表示できるラベルです。

「みどりすごろくみっちゃん版」を作成しました

みどりの食料システム戦略の啓発活動の一環として、印刷すればみんなですぐに遊ぶことができる、「みどりすごろくみっちゃん版」を作成しました。自分が農家になって、農産物の生産、買物、食事の中で「環境に良いことってなんだろう」とちょっと気になるすごろくです。是非印刷してすごろくを遊んで環境について考えてみましょう！

ダウンロードは
こちらから

<https://www.maf.f.go.jp/tohoku/monosiritai/midori/attach/pdf/index-1.pdf>



◆「東北みどり戦略だより」の問合せ先：東北農政局企画調整室総括チーム
022-263-1111（内線4080、4405、4259）

